パナマ経済（２０１４年９月）

２０１４年９月のパナマ経済の主な動きは以下のとおり。

主な出来事

●ペタキージャ・ミネラル社は，モレホン鉱山における金の掘削を中断すると発表。背景には世界的な金の価格の下落ならびに燃料価格高騰による収益の悪化が挙げられる。

●メキシコ－パナマＦＴＡ

１７日，貿易産業省はパナマ－メキシコＦＴＡ法案を国会に提出した。

●「マネーロンダリング及びテロ資金供与防止のための政策ユニット」の設置

貿易産業省はマネーロンダリングを厳しく取り締まるため、「マネーロンダリング及びテロ資金供与防止のための政策ユニット」を設置した。

１　経済一般

（１）上半期のＧＤＰ成長率

会計検査院は上半期のＧＤＰが前年同期比６．２％増の１７３億１，５８０万ドルであったと発表。農業（△０．３％減），ホテル・外食業（△１．５％減）が不調だった一方，好調な漁業（３６．４％増），建設業（１５．５％増）などに牽引された。経済財務省は本年度のＧＤＰ成長率は７％になる見込みという見解を示している

（２）トクメン国際空港利用者数

会計検査院は１～７月のトクメン国際空港利用者数が前年同期比９．６％増の４８８万１，９８５人に達したと発表した。

（３）国内コンテナ取扱量

会計検査院は１～７月の国内コンテナ取扱量が前年同期比１．６％増の２，３４７，５７９ＴＥＵであったと発表した。クリストバル港（１．２％増），バルボア港（１．１％増），マンサニージョ国際ターミナル（１．３％増）での取り扱いが増えた一方，コロンコンテナターミナル（△１６．２％減）での取扱量は減少した。

（４）国債の発行

１５日，経済財務省は１２億５，０００万ドルの国債を発行したと発表。利息は４％で期限は２０２４年９月まで。

（５）「マネーロンダリング及びテロ資金供与防止のための政策ユニット」の設置

貿易産業省はマネーロンダリングを厳しく取り締まるため，１８日に「マネーロンダリング及びテロ資金供与防止のための政策ユニット」を設置した。同ユニットは，ＧＡＦＩのグレー・リスト脱却に向けた取り組みの一つであり，国内各機関と連携しながら，国内の経済活動のモニタリングを行っていく予定。

（５）世界経済フォーラム発表の競争力ランキング

９月２日に世界経済フォーラムにて発表された世界競争力ランキングでパナマは前年から８ポイントダウンの４８位（ラテンアメリカ域内第２位）にランクされた。ランクダウンの要因は改善の努力が見られない汚職問題，生産性の低い行政，司法の独立性の低さなどが挙げられる。なお域内トップはチリ。

（７）カナダ－パナマ間直行便増便

パナマ・カナダ間の航路が増便傾向にある。カナダからの観光客増の需要に応え，エアーカナダが１２月１７日よりトロント－パナマ便を週３便にするほか，ＣＯＰＡ社が１１月からの増便の準備を進め，そのほかのチャーター便も合わせると２０１４年末までに週１３便になる見通し。観光庁はカナダからの観光客の増加にあわせ，昨今同国企業による対パナマビジネスの関心が高いことを背景にあげる。カナダからの上半期の観光客数は前年同期比２．６％増の３４，７９０人。

（８）米国－パナマ間直行便就航予定

１０日，ユナイテッドエアラインはデンバー（コロラド州）－パナマ間の直行便を１２月３日から運航すると発表。発表の場には，ファラ－駐パナマ米国大使も出席した。

（９）ペタキージャ・ミネラル社による金の掘削中断

ペタキージャ・ミネラル社は，モレホン鉱山における金の掘削を中断すると発表。背景には世界的な金価格の下落ならびに燃料価格高騰による収益の悪化が挙げられる。２０１２年には１オンスあたり１，９００ドルだったが，現在は１，２３１ドルまで下落しており，この影響により会計検査院によると本年１～３月期における金の輸出額は２０１１年同期比△９８％減少した。

２　通商、自由貿易協定、国際経済関連

（１）メキシコ－パナマＦＴＡ

１７日，貿易産業省はパナマ－メキシコＦＴＡ法案を国会に提出した。本法案には漁業産品の８５％が対象品目に含まれる他，花，スイカ，鶏肉，メロンなどが向こう５年間で無関税にてメキシコ市場に流通する見込み。

（２）イスラエル－パナマＦＴＡ交渉再開

貿易産業省は，本年５月に開催した第一回目交渉以降中断していたパナマ－イスラエル間のＦＴＡ交渉を近々再開すると発表した。イスラエルはパナマからの食肉およびパイナップルの輸入に関心を示しているという。

３　パナマ運河及びインフラ関連

（１）パナマ運河拡張工事

７日，第三閘門建設工事の水門４基が製造元のイタリアよりパナマに到着した。キハーノＡＣＰ長官によると，これにより１６基中１２基の水門がパナマに揃ったことになり，最後の水門４基は，来年１月～２月頃に到着する見込み。なお９月末時点のパナマ運河拡張工事の全体進捗率は約８０％。

（２）パナマ首都圏都市交通（メトロ）２号線整備計画

１５日，パナマ政府は，メトロ２号線建設に関する入札要件を発表した。２０１５年第２四半期には建設が開始される見通しであり，工期は４８ヶ月とされている。なお，２号線は当初トクメン空港へは接続されていなかったが，入札要件には将来トクメン空港からメトロ２号線のＵＴＰ駅までの区間を接続することが言及されている。

４　経済指標，経済見通し等

（１）１～８月期のインフレ率

経済財務省は１～８月のインフレ率が２．６％であったと発表。なお年内のインフレ率は３％以内に抑えられる見込み。

（２）上半期の海外直接投資額（ＦＤＩ）

会計検査院は，上半期のＦＤＩが前年同期比２１％増の２５億７，５４０万ドルであったと発表。コロンフリーゾーンへの投資額が△７８．９％と大幅に減少した一方，運河拡張による経済成長を見込んだ海外資本の流入が牽引し増加した。今後も港湾建設およびフリーゾーン建設などにより引き続き海外からの投資が見込まれる。なお増加した投資額の主な内訳は，金融業（国内限定）が３５．９％増，金融業（国内および国際）が１６．６％増，それ以外の分野が２７．２％増であった。今年度末までに５０億ドル超のＦＤＩが見込まれる。

（３）上半期の経済活動指数

会計検査院によると，上半期の経済活動指数は４．２９％であった。同指数は２００９年以降最も低い数値であり，鉱山開発分野における経済活動の鈍化が影響した。

（４）経済指標は別添資料ご参照。（了）